



ひらかわ

市議会だより

平成26年
9月定例会

第36号

平成26年12月15日発行



左から、ヤーヤくん、こめお、ひらりん、にん三郎、たけっこくん、
ニヤモタン、ドッピー君(ハロウィン衣装)、ラッセル君、決め手くん

碓ヶ関紅葉と収穫祭にゆるキャラ大集合！

目次

◆平成26年第2回（9月）定例会（概要）	2
（審議した議案）	3～4
◆決算特別委員会（平成25年度決算審査）	5～8
◆議決一覧表	9～10
◆市政に関する一般質問より（9議員）	11～16
◆会派の紹介	17
◆第2回臨時会・ライブ中継	18
◆議員全員協議会開催・青森県市議会議員研修会	19
◆議会の動き・編集室から	20

発行：青森県平川市議会 編集：平川市議会広報特別委員会

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6 TEL(0172)44-1111 FAX(0172)44-6988

平川市ホームページ：<http://www.city.hirakawa.lg.jp/> メールアドレス：gikai@city.hirakawa.lg.jp

第3回(9月)定例会

決算特別委員会設置

平成26年第3回平川市議会定例会は、9月5日から16日までの12日間を会期として開催されました。本定例会では、平成25年度一般会計などの決算（27件）を審査するために議員全員で構成する決算特別委員会が設置され、委員長に齋藤政子議員、副委員長に齋藤律子議員が選任され、就任のあいさつを述べました。

今回提出されました議案は、議員提出議案1件、人事案件2件、条例案2件、補正予算案7件、工事の請負契約案2件、市道路線廃止及び認定案2件、市有財産の処分案1件、議員の派遣について1件、請願1件、報告2件でした。また、最終日（16日）には意見書提出の議員提出議案が追加提案されました。

これらを慎重に審議した結果、議員提出議案第1号は、無記名投票により賛成少数で否決となり、議案第85号、第86号、第98号、第99号、第100号、第125号は起立採決により原案可決または認定となりました。その他の議案については原案同意、または原案可決、認定、採択となりました。



【会期日程】

- 9月5日(金) 本会議
- 9月6日(土) (休会)
- 9月7日(日) (休会)
- 9月8日(月) (議案熟考のため休会)
- 9月9日(火) 本会議 (一般質問1日目)
- 9月10日(水) 本会議 (一般質問2日目)
- 9月11日(木) 決算特別委員会
- 9月12日(金) 決算特別委員会
- 9月13日(土) (休会)
- 9月14日(日) (休会)
- 9月15日(月) (休会)
- 9月16日(火) 本会議 (最終日)



審議した議案

人事案件

●人権擁護委員に

ふくし ゆきお
福士 幸雄 氏を同意

人権擁護委員 福士幸雄氏の任期が平成26年12月31日をもって満了するので、再任について同意した。

住 所 平川市新山
昭和19年生

●人権擁護委員に

そうま まさえ
相馬 正栄 氏を同意

人権擁護委員 相馬正栄氏の任期が平成26年12月31日をもって満了するので、再任について同意した。

住 所 平川市碓ヶ関
昭和17年生

条例案

●平川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例案

（平成26年9月16日から施行）

子ども、子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律における児童福祉法の一部改正に伴い、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めるため。

質 疑

問 この条例案に平川市独自の条項を加えているか。

答 ほぼ国の案どおりのものである。

●平川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例案

（平成26年9月16日から施行）

子ども、子育て支援法の規定に基づき、特定教育・保育施設の運営に関する基準及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めるため。

質 疑

問 この条例案に平川市独自の条項を加えているか。

答 ほぼ国の基準どおりだが、平川市の地理にそぐわない表現が1箇所あったため、「離島等」を「地理的条件」に訂正したのみである。

そ の 他

●工事の請負契約について

古懸不動野線道路改築（不動橋）上部工工事について、請負契約を締結するため。

●工事の請負契約について

小学校太陽光発電設備蓄電池整備工事について、請負契約を締結するため。

●市道路線の廃止について

道路法第10条第1項の規定に基づき、市道の路線を廃止するため。

本町平野6号線 164.9 m

●市道路線の認定について

道路法第8条第2項の規定に基づき、市道の路線を認定するため。

本町平野6号線 198.2 m
大光寺二村井6号線 141.9 m
大光寺二村井7号線 41.3 m
新屋平野栄館線 67.4 m

●市有財産の処分について

株式会社日本マイクロニクス青森工場職員駐車場用地として平川市新館地区の市有地を処分するため。

議員提出議案

●平川市議会議員の議員報酬の特例に関する条例案

市民に多大な不信と不安を与えた責任は非常に重く、補欠選挙費用も再度補正しなければならない。議員報酬を年間23%減額し、議員一人当たり年間約100万円、5年間で総額1億円を市民に還元し、議員が言葉だけでなくできることを市民に示すべきであるため。

質疑

問 補欠選挙にかかった費用は。

答 1,717万1,056円である。

反対討論

議員は公平にその権限を行使すべき立場にあり、議員活動に支障を与えるほどの議員報酬の年間23%の削減、それも5年間は非常に重く、関係のない者に科するには大きな問題が発生する恐れがある。1億円のうち補欠選挙用5千万円、事業に5千万円使用するとあるが、根底から問題で根拠もなく、机上の空論に過ぎない。表決についても定足数の半数以下の賛否は効力があるのか疑問であることから反対する。

賛成討論

議員に求められる姿勢として公正、公平、透明性、そして良識、良心がある。この度の公職選挙法違反の事件では議員としての姿勢はもとより、議会としての権威も大きく傷つき、信用が失墜したと言える。それゆえに個人が犯した罪は個人が償うのは当然であるが、議会としても反省と戒めを込めて責任ある態度を示すべきと考えることから賛成する。

請願

●政府による緊急の過剰米処理を求める請願書（採択）

趣旨：2014年産米は全国的な価格の大暴落が強く懸念される。主食の米の需要と価格の安定をはかるのは政府の重要な役割であり、緊急に対策を実施することが求められるため。

補正予算

平成26年度一般会計補正予算 総額174億2,095万3,000円に

一般会計

予算の総額に歳入歳出それぞれ8,526万3,000円を追加し、総額を174億2,095万3,000円とする。

質疑

問 総合運動施設費の暖房関係の工事はどのようなものか。

答 一塁側、三塁側の双方に、ダッグアウトのような骨組みにビニールシートを張り、その中に野球、ソフト双方20名程度が座って待機できる暖房装置をつくる予定。暖房は天井から遠赤外線を吊るすものである。

国民健康保険特別会計

予算の総額に歳入歳出それぞれ357万8,000円を追加し、総額を42億4,766万2,000円とする。

介護保険特別会計

予算の総額に歳入歳出それぞれ601万円を追加し、総額を36億2,323万5,000円とする。

国民健康保険診療施設 事業診療所特別会計

予算の総額から歳入歳出それぞれ152万8,000円を減額し、総額を3億2,342万6,000円とする。

学校給食センター特別会計

予算の総額に歳入歳出それぞれ91万3,000円を追加し、総額を3億4,144万9,000円とする。

水道事業会計

収益的収入および支出のうち、収入について、一般会計補助金4万6,000円を増額し、支出について、人件費452万6,000円を減額、企業債利息51万3,000円を減額するものである。

下水道事業会計

収益的収入および支出のうち、支出について、人件費76万2,000円を減額し、資本的収入および支出のうち、支出について、汚水ます設置工事費517万円を増額するものである。

決算特別委員会

平成 25 年度一般会計決算

歳出総額 177 億 6 千万円

決算特別委員会は、議員 19 名全員を委員とし、9 月 11 日に委員長に齋藤政子委員、副委員長に齋藤律子委員が指名推選により選任されました。

9 月 11 日・12 日 2 日間、一般会計を含む特別会計及び企業会計の平成 25 年度決算認定について審議しました。

各委員から活発な質疑が行われた結果、一般会計と国民健康保険特別会計、介護保険特別会計は賛成多数で、その他会計決算は全会一致で認定されました。

(※質疑内容は要約し、抜粋して掲載しています。)



齋藤 政子 委員長



齋藤 律子 副委員長

一般会計

歳入全般

問 生活保護適正実施推進事業費の減額は、政府が行う生活保護費適正化によるものか。

答 相談員の人件費が県に移行になった分の減額である。事業の中身についてはさほど変化はない。

問 成人病等予防検診料における前立腺がん、骨密度、肝炎検査の目標人数は。

答 目標は対象者全員。前立腺がんの対象者が 6,658 人で、受診率は 16.8%。骨密度は 1,703 人、受診率が 17.1%。肝炎検査は 3,454 人、受診率が 11.2%である。

歳出全般

総務費

問 平川市長選挙費は何名の立候補をみた選挙費用か。

答 立候補は 4 人を想定していた。

民生費

問 保育料収納事務委託料とあるが、徴収方法が変更されたのか。

答 平成 23 年度から保護者の便宜を鑑み、保育所へ直接支払ってもよいことになった。その代わりに、保育所にはその分の手数料を支払うこととなっている。

衛生費

問 ごみの減量化の達成率は。

答 現在、達成率は若干低下している。要因は事業系のごみが増加したことであるため、その減量にも対策を入れたい。

農林水産業費

問 林内路網整備作業道開設工事について。

答 日本では1ヘクタールあたり18m程の作業道、林道しかなく、一方ドイツ等は120m程あるため木材切り出しコストが非常に安い。それを日本でも欧米並みに高めるため、国が10分の10で日本全国の林道、作業道を補助する事業を展開している。それを導入し実施している事業である。

商工費

問 規模が大きい夏ねぶたよりも冬ねぶたの費用が多いのはなぜか。

答 夏ねぶたでは平川市から奨励金として1台10万円、冬ねぶたは冬まで絵を保存するためコストもかかり、1台につき35万円を出しているため。

土木費

問 生け垣推進事業補助金は旧尾上地区限定だったが、平賀にも適用できないのか。

答 適用範囲を広げるとなると、それを含めた新しい条例の制定が必要になると思われる。現在の尾上地区との連担性なども考え、その是非についてはいまのところ議論されていない。

教育費

問 無形文化財等保存継承事業補助金に獅子の関係は入っているか。

答 平川市連合獅子踊り保存会、その他八幡崎芸能保存会、古懸、久吉駒踊り等も入っている。

反対討論あり

教育費や野球場等整備工事、総合運動施設第2期工区等に関する決算は不透明で正しくないやり方と言わざるを得ず、到底納得できるものではないことから反対する。

賛成討論あり

決算の内容は市民生活の環境整備を促進し地域経済の活性化に大きく寄与したものであり、一層の財政健全化に向けた取り組みが実現できたと評価されることから賛成する。

特別会計

国民健康保険特別会計

問 不納欠損額の原因は。

答 生活困窮者や生活保護によるもの、死亡、住基からの職権消除、行方不明等が主なる原因である。

問 平川市の収納率と他市との比較は。

答 収納率は本年度が91.3%、昨年度が91.6%。ここ数年の平川市の収納率は10市中では一番である。

反対討論あり

歳入において収入未済額や滞納繰越分、不納欠損額等をもみても厳しい状況にあり、税を支払う側からすれば担税能力を超える大変な重税である。市民の命と健康を守る観点からも、社会保障としての目的に沿った改革を望むことから反対する。

賛成討論あり

歳入は財政調整基金を取り崩すなど厳しい状況にあるものの、保険税の収納状況は県内10市中最も高い収納率を維持し、その経営努力が認められる。歳出は保険給付費について対前年度比2.2%の伸びで増加傾向にあるものの、保健事業が適正に実施されるなど健全な国保事業の運営が図られていることから賛成する。

介護保険特別会計

問 普通徴収において、未納者の現状は。

答 滞納者数の割合で各段階別に比較してみると、対象者が多いのが第2段階の203名、第4段階の250名である。

反対討論あり

3年ごとに変わる事業計画で介護保険料は毎回引き上げとなり、被保険者を苦しめている。その上、年金の引き下げで介護サービスの抑制の実態もあることから反対する。

賛成討論あり

この決算は必要な介護サービスが確保・給付され、地域支援事業の展開により介護予防にも積極的に取り組んできたことがうかがえる。その結果、平成25年度においては認定者数、受給者数の伸び率が減少してきており、市の施策が成果を上げてきていると考えるため賛成する。

後期高齢者医療特別会計

問 高齢者肺炎球菌ワクチン接種委託料の内訳は。

答 助成した方は全部で102名である。

水道事業会計

問 異臭味問題の現在の状況は。

答 現在のところ問題の連絡はきていない。ごみ等の取り締まりの強化や曝気装置を4基設置し、水温を20度以下に保つような状況で手当てしている。

下水道事業会計

問 集落排水事業について、大分古くなり公共につないだほうがよい地域も出てくると思われるため、今後どのような見通しを持っているか。

答 現在、部内でも計画を進め、今後、そのような場所を再度検討しながら公共につなぐ方向で準備に入っている。

平成25年度 各会計の決算状況

会 計 名		収 入 額	支 出 額	
一 般 会 計		182億2,696万429円	177億6,814万8,689円	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	42億8,404万6,277円	42億7,813万9,396円	
	介 護 保 険	36億1,570万3,326円	35億5,606万184円	
	後 期 高 齢 者 医 療	2億5,703万9,173円	2億5,668万8,173円	
	診 療 所	6億9,991万404円	6億9,991万404円	
	学 校 給 食 セ ン タ ー	3億4,069万4,558円	3億4,069万4,558円	
	尾上地区住宅団地温泉事業	1,080万1,662円	971万5,640円	
	簡 易 水 道	4,338万6,656円	4,338万6,656円	
計		274億7,854万2,485円	269億5,274万3,700円	
企 業 会 計	水 道 事 業	収 益 的	5億3,192万5,759円	4億4,144万3,108円
		資 本 的	2,454万2,000円	1億9,800万4,627円
	下 水 道 事 業	収 益 的	8億3,648万3,234円	8億9,407万6,507円
		資 本 的	4億1,773万8,000円	7億3,351万7,685円

※千円未満は四捨五入のため積算が一致しない場合がある。

平成 25 年度 一般会計の決算状況

【歳入】

(単位：円)

	割合 (%)	予算現額	調定額	収入済額	収入割合 (%)				
					予算対	調定対	歳入計対		
自主財源	市 税	2,349,329,085	2,338,017,000	2,521,059,135	2,349,329,085	100.5	93.2	12.9	
	分担金及び負担金		193,892,000	189,569,432	184,499,572	95.2	97.3	1.0	
	使用料及び手数料		108,657,000	119,625,504	118,316,786	108.9	98.9	0.6	
	財産収入		56,034,000	56,369,449	56,208,449	100.3	99.7	0.3	
	寄附金	18.9	1,104,415,434	34,000	822,740	822,740	2419.8	100	0
	繰入金			518,000	517,485	517,485	99.9	100	0
	繰越金			198,476,000	198,476,972	198,476,972	100	100	1.1
	諸収入			511,283,000	586,154,560	545,573,430	106.7	93.1	3.0
依存財源	地方譲与税		222,210,000	222,210,000	222,210,000	100	100	1.2	
	利子割交付金		4,548,000	4,548,000	4,548,000	100	100	0	
	配当割交付金		4,689,000	4,689,000	4,689,000	100	100	0	
	株式等譲渡所得割交付金		5,075,000	5,075,000	5,075,000	100	100	0	
	地方消費税交付金		621,698,197	290,007,000	290,007,000	290,007,000	100	100	1.6
	ゴルフ場利用税交付金			13,123,000	13,123,197	13,123,197	100	100	0
	自動車取得税交付金			66,524,000	66,524,000	66,524,000	100	100	0
	地方特例交付金			11,295,000	11,295,000	11,295,000	100	100	0
	交通安全対策特別交付金			4,227,000	4,227,000	4,227,000	100	100	0
	地方交付税		8,628,905,000	8,628,905,000	8,628,905,000	8,628,905,000	100	100	47.3
	国庫支出金		3,393,464,713	2,420,080,000	2,205,306,519	2,205,306,519	91.1	100	12.1
	県支出金			1,324,996,000	1,188,158,194	1,188,158,194	89.7	100	6.5
市 債		2,129,148,000	2,382,448,000	2,129,148,000	2,129,148,000	89.4	100	11.7	
歳入合計		18,226,960,429	18,785,038,000	18,445,811,187	18,226,960,429	97.0	98.8	100	

※構成比は、四捨五入のため積算が一致しない場合がある。

【歳出】

(単位：円)

科 目	予算現額	支出済額	繰越額	執行割合 (%)	
				予算対	歳出計対
議 会 費	171,092,000	168,790,611		98.7	0.9
総 務 費	2,212,961,000	2,176,002,808	712,000	98.3	12.2
民 生 費	5,201,785,000	5,135,349,798	6,940,000	98.7	28.9
衛 生 費	1,221,160,000	1,153,117,343	22,701,000	94.4	6.5
労 働 費	31,169,000	29,209,762		93.7	0.2
農 林 水 産 費	944,062,000	928,029,838	8,035,000	98.3	5.2
商 工 費	452,782,000	442,928,899		97.8	2.5
土 木 費	1,964,291,000	1,722,063,524	223,210,000	87.7	9.7
消 防 費	1,198,603,000	1,192,610,356		99.5	6.7
教 育 費	2,005,800,000	1,959,941,576		97.7	11.0
災 害 復 旧 費	635,204,000	161,095,837	470,809,000	25.4	0.9
公 債 費	2,699,208,000	2,699,008,337		100	15.2
予 備 費	46,921,000	0		0	0
歳出合計	18,785,038,000	17,768,148,689	732,407,000	94.6	100

平成26年
(9月議会)

第3回 定例会議決一覧表

議案 番号	議 案 名	本 会 議		常任委員会		
		結 果	備 考	付託先	結 果	備 考
【人事案件】						
83	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意		付託省略		
84	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意		付託省略		
【条例案・条例改正案】						
85	平川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例案	原案可決	起立採決	付託省略		
86	平川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例案	原案可決	起立採決	付託省略		
【そ の 他】						
87	工事の請負契約について	原案可決		付託省略		
88	工事の請負契約について	原案可決		付託省略		
89	市道路線の廃止について	原案可決		付託省略		
90	市道路線の認定について	原案可決		付託省略		
125	市有財産の処分について	原案可決	起立採決	付託省略		
【補正予算案】						
91	平成26年度平川市一般会計補正予算案(第3号)	原案可決		付託省略		
92	平成26年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案(第1号)	原案可決		付託省略		
93	平成26年度平川市介護保険特別会計補正予算案(第1号)	原案可決		付託省略		
94	平成26年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案(第1号)	原案可決		付託省略		
95	平成26年度平川市学校給食センター特別会計補正予算案(第1号)	原案可決		付託省略		
96	平成26年度平川市水道事業会計補正予算案(第2号)	原案可決		付託省略		
97	平成26年度平川市下水道事業会計補正予算案(第1号)	原案可決		付託省略		
【歳入歳出決算】						
98	平成25年度平川市一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	起立採決	決算特別		
99	平成25年度平川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	起立採決	決算特別		
100	平成25年度平川市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	起立採決	決算特別		
101	平成25年度平川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
102	平成25年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
103	平成25年度平川市学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
104	平成25年度平川市尾上地区住宅団地温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
105	平成25年度平川市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
106	平成25年度平川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について	原案可決及び認定		決算特別		

議案番号	議案名	本会議		常任委員会		
		結果	備考	付託先	結果	備考
107	平成25年度平川市下水道事業会計決算認定について	原案認定		決算特別		
108	平成25年度平川市広船財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
109	平成25年度平川市小和森財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
110	平成25年度平川市荒田財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
111	平成25年度平川市大坊財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
112	平成25年度平川市石郷財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
113	平成25年度平川市岩館財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
114	平成25年度平川市柏木町財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
115	平成25年度平川市大字大光寺財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
116	平成25年度平川市平田森財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
117	平成25年度平川市新尾崎財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
118	平成25年度平川市新館財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
119	平成25年度平川市沖館財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
120	平成25年度平川市葛川財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
121	平成25年度平川市吹上・高畑財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
122	平成25年度平川市原田財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
123	平成25年度平川市館田財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
124	平成25年度平川市碓ヶ関財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別		
【報告】						
8	平成25年度平川市健全化判断比率について					
9	平成25年度平川市資金不足比率について					
【請願】						
3	政府による緊急の過剰米処理を求める請願書	採択		付託省略		
【議員提出議案】						
1	平川市議会議員の議員報酬の特例に関する条例案	否決	無記名投票採決	付託省略		
2	政府による緊急の過剰米処理を求める意見書（案）の提出について	原案可決		付託省略		

平成26年（8月開催） 第2回 臨時会議決一覧表

議案番号	議案名	本会議		常任委員会		
		結果	備考	付託先	結果	備考
【条例案・条例改正案】						
82	平川市運動施設条例の一部を改正する条例案	原案可決	起立採決	付託省略		

市政に関する一般質問より

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問します。ここでは内容を要約して掲載しております。



平成26年 第3回(9月)定例会 一般質問傍聴席

※9月定例会では40名の方が傍聴されました

1. 古川 敏夫 議員 (一括質問方式)

1. 福祉行政について
2. 地域活性化事業について

2. 小野 敬子 議員 (一括質問方式)

1. 食物アレルギー対策について
2. ふるさと納税について

3. 大川 登 議員 (一括質問方式)

1. 廃校の活用について
2. 夜間・休日のAED利用の対策について問う

4. 工藤 竹雄 議員 (一括質問方式)

1. 平川市耐震改修促進計画の進捗について
2. 子ども・子育て支援新制度について

5. 齋藤 律子 議員 (一問一答方式)

1. 市長の政治姿勢について
2. 学校給食センターのあり方について
3. 第2期平賀総合運動施設整備事業について

6. 齋藤 政子 議員 (一括質問方式)

1. 豪雨災害の現状と今後の見通しについて
2. 有害鳥獣の駆除と対策について

7. 工藤 輝昭 議員 (一問一答方式)

1. 雪対策について
2. 介護保険制度について
3. 消費税増税について

8. 齋藤 英仁 議員 (一括質問方式)

1. 自治基本条例(住民基本条例)について

9. 石田 昭弘 議員 (一括質問方式)

1. 平川市の信頼回復に向けての決意について
2. 公約の一つ目「産業」の振興について



古川 敏夫 議員

1. 福祉行政について

問 長期総合プラン後期基本計画の「お互いが支え合う共生のまちづくり」について、市長の評価は。

答 個別目標である4つの項目において、まちづくり懇談会等でのニーズ把握や地域全体のネットワークづくり、子育て住宅支援補助事業の実施、保育料無料化の拡大、子育て支援課の設置、シルバー人材センターの移転による機能強化、高齢者の活躍場所の確保のためクラブ・サークルへの支援、老人クラブの育成強化、ボランティア団体などの育成支援、障害者が気軽に相談ができる体制の整備などの環境づくりに努めている。

市民が健やかで安心して暮らせる生活環境の確保を図りながら、「自助・共助・公助」の考えのもと、積極的に必要な施策を推進しているところである。

2. 地域活性化事業について



問 伝統文化の継承について、三地域の祭りの市長の所見は。

答 各地域の祭りを拝見すると、地域住民が一体となって取り組まれていることに感心した。地域の実働体として若い世代も積極的に参加しており、県内外からの観客にも好評をいただき、平川市の観光の目玉として今後も一層の活性化と経済効果を期待するものである。

市としても、祭り従事職員の増員や実行委員会に若手委員の登用・若い意見による改革の推進をお願いするなどしており、今後も可能な部分については協力と支援をしていきたい。



小野 敬子 議員

1. 食物アレルギー対策について

問 ①学校給食の実施状況について。
②平川市のエピペン対応について。
③保育園、学童保育への対応はどの程度進められているか。

答 ①現在、当市の学校給食センターにおいてアレルギー対応食は提供していないため、各小・中学校で対応している。食物アレルギーがある児童生徒へは、入学時や転入時等に保健調査書、学校生活管理指導表を保護者から提出していただいている。

②先生にはエピペンの研修会等に参加を働きかけ、その資質向上に努めている。また、重症なアレルギーを持つ児童生徒の対応については、自己注射薬エピペンの効果的な使用、緊急時の対応処置の体制を整備するよう、市内小・中学校に指導している。

③保育所・放課後児童クラブでは、保護者からの申し出、または調査によりアレルギーを把握し、完全除去、部分除去、代替食等の対応を取っている。

2. ふるさと納税について

問 ふるさと納税活用による特産品の宣伝活動について。

答 当市では、広報誌やホームページで制度の周知を努め、寄附された方にはひらかわ推奨品や特産品詰め合わせ、リンゴ詰め合わせを送っている。納税のお礼については、特色のある取り組みを行っている自治体も多いことから、現在、特産品の宣伝も含め、当市でできる取り組みの検討が進められている。





大川 登 議員

1. 廃校の利活用について

問 ①旧広船小学校の利活用について、進展具合と今後の取り組みは。
②旧葛川小・中学校の利活用について。

答 ①民間を活用し市有財産の有効活用を図ることから売却することになり、公告を掲載したところ2名の応募があった。決定は応募者の具体的な利用計画について庁内選定審査委員会を開催し、選定を行った。

②旧葛川小・中学校については、地元の東部地区より葛川支所、葛川診療所、デイサービスセンター等の公共施設を集約し、拠点施設として活用してほしいとの要望があったが、検討したところ、多額な移転費用・改築費用が見込まれる等の報告を受けた。

現在は、体育館の貸出しや避難場所、遊具の使用、廃品回収物の一時保管場所等として活用しており、できる限り市民の要望に応えているところである。

2. 夜間・休日のAED利用の対策について問う



AED

問 平川市の夜間・休日のAED対策は。

答 平川消防署によると、市内のAEDは民間を含め68箇所あり、当市では公共施設15箇所、小・中学校13箇所の合わせて28箇所に設置されている。その中で夜間・休日に利用できる施設は、市役所本庁舎及び各支所の3箇所しかないのが実情である。AEDの有効性は十分に認識しているところであり、他の自治体の例を参考に今後検討していきたい。



工藤 竹雄 議員

1. 平川市耐震改修促進計画の進捗について

問 平成23年の一般質問において、耐震診断予定の施設が4箇所、残り19箇所との答弁であったが、その実施予定の4箇所の施設名は。また残り19箇所の施設名、進捗状況及び実績は目標に到達したか。

答 耐震診断予定の施設は東公民館、猿賀公民館、尾上公民館、古懸地区公民館の4施設で、これらは平成23年度に診断し、いずれも改修が必要。残り19施設については、尾上スポーツセンターと平賀農村改善センターが平成25年度に診断をクリア、解体したものが金屋ふれあいセンター、今年度に解体予定のものが南田中集落会館。新屋多目的集会所は平成2年に建てられたため診断は必要ないと判断した。よって、5施設が耐震、あるいは解体、残り14施設が現在、診断が必要ということになっている。

2. 子ども・子育て支援新制度について



問 県内の認定こども園移行等に関する実態の調査結果は。また、当市の実態調査はどうなっているのか。

答 今春に実施された県のアンケートによると、来年度以降に新制度に移行する予定としている所は約51%で、保育所の半数以上が移行を検討している一方、幼稚園では3割程度である。当市においては、市内全保育所が移行を予定あるいは検討している一方、幼稚園はいまのところ移行については未定である。



齋藤 律子 議員

1. 市長の政治姿勢について

- 問** ①職員採用や人事について。
②社会福祉事業の許認可や公共事業の発注に関する権限について。
- 答** ①採用試験は、昨年までは2次試験まで実施していたが本年度は3次試験まで実施する。職員配置では資格や実績、能力等を総合的に勘案し、適材適所を心掛けている。
②首長の許認可等に係る権限は要件や基準に従って行使しており、また、公共工事の業者選定は平川市建設業者工事施工能力審査規則に基づいて進めている。

2. 学校給食センターのあり方について

- 問** 集中改革プランでは、学校給食センターの統合を今年度着手とあるが、目標年度はいつか。
- 答** 平成30年度を目途に平賀学校給食センターに統合する計画である。

3. 第2期平賀総合運動施設整備事業について



平賀学校給食センター

- 問** ①平賀体育館の改築候補地である㈱日本マイクロニクスに貸している駐車場用地について、今後の具体的な構想は。
②整備工事等について、見直す内容を具体的に示せ。
- 答** ①具体的な検討はされていないため、今後、長期総合プラン実施計画に組み入れ、財政的な検証を加えて進めていきたい。
②陸上競技場全体の配置を西側に移動させ、観覧場所を広く整備し、全体的に余裕のある配置とする。また、多目的広場の野球場兼用ソフトボール場2面を整備する。



齋藤 政子 議員

1. 豪雨災害の現状と今後の見通しについて

- 問** 平成25年9月台風18号以後の復旧作業について、現在の状況と見通しは。また、救援土木について市長の考えは。
- 答** 昨年発生した台風18号の復旧状況であるが、現在の進捗率は農地の完了が290件のうち259件、農業用施設の完了が139件のうち123件であり、全体の89%となっている。本年度の豪雨による被災状況は、農地が32件、農業用施設が10件の合計42件である。復旧については、予算を今回の補正予算に計上しているため議決後に順次発注することとなる。救援土木についてであるが、今回の復旧業務は専門的かつ危険を伴う業務のため、建設業者に委託するのが妥当と考える。

2. 有害鳥獣の駆除と対策について



- 問** 猿と熊の駆除と対策について。
- 答** 市としては被害状況を調査した上で捕獲許可をし、猟友会にお願いをしているところだが、今年度の許可件数としては、平賀東部地区が5件、碓ヶ関地区が3件、平賀西部地区及び尾上地区が1件となっている。
被害の防止対策としては、農作物の残さの除去、囲い柵の設置、追い払い等を地域ぐるみで行うようPRした上で、捕獲による個体数管理と被害防止を図っていく。



工藤 輝昭 議員



八幡崎の通学路

1. 雪対策について

問 ①第2期平賀総合運動施設整備予定地に代わる、今後の雪置き場の代替地は。

②八幡崎地区等の降雪による危険な通学路の除排雪について。

答 ①それなりの面積と大型車の通行のため道路幅員が確保できる道路が条件。これらを満たす場所については現在、候補地を検討中。

②通学路は警察署、関係機関と危険箇所を確認し、注意看板を設置するなど周知をしている。また、学校・PTAには通学路の点検をお願いし、危険度の高い場所は緊急に除排雪をすることで対応している。

2. 介護保険制度について

問 第6期介護保険事業計画の方向性及び進捗状況について。

答 第6期は、第5期からの地域包括ケアシステム構築を本格化し、団塊世代が75歳になる平成37年を見据えて中期的な視点での施策を策定するものである。市では6月に市内の高齢者に生活実態に関するアンケートを実施。さらに市民の意見を広く求めるため、計画の素案段階から平川市介護保険等運営協議会に内容の審議をお願いしていく。

3. 消費税増税について

問 生活保護受給者のくらしは厳しくなり、入浴も制限している。当市の温泉資源を利用した無料券の活用による何らかの支援は考えられないか。

答 現在、65歳以上の方が無料で利用できる施設は、平川市高齢者ふれあいセンター及び地域福祉センターがあるので活用してほしい。65歳以下まで広げるとなるとかなり大変な状況が生じるため、いまの段階ではそのような状況にはないと認識している。

1. 自治基本条例（住民基本条例）について

問 ①自治基本条例若しくはそれに類するルールの必要性に関して市長の見解は。

②自治基本条例若しくはそれに類するルールに関する提案に対し、技術的な回答を求める。

答 ①自治基本条例の大きな目的は、住民自治の原点に基づきまちづくりにおける市民の権利、責任を明らかにしていくということで制定されたと認識している。

すでに市民・行政が連携・協力する「協働」についての取り組みが始まっており、自治基本条例の制定にあたっては、市民と行政、市民と議会との関係に市民参加・市民自治をどう位置付けるかという課題もあることから、引き続き制定の必要性について検討していきたい。

②自治基本条例を制定するにはかなり時間を要するとみられる。他市の例をみると、検討委員を委嘱して検討会議を重ね、おおむね1、2年で報告書をまとめる。その後、法務管理の面から検討などを踏まえ法案を作成し、議員説明やパブリックコメント等を実施したのち、条例案として制定することになり、おおむね4年ほどかけて制定しているところが多いと認識している。



齋藤 英仁 議員





石田 昭弘 議員



1. 平川市の信頼回復に向けての決意について

問 公約の三つの基本姿勢を軸とした信頼回復に向けての決意について。

答 公正・公平に市政運営することももちろんだが、市民との対話を重視し、市政の透明性の確保と情報発信をしっかりと行っていきたい。取り組みの一環として週一回のペースでまちづくり懇談会を開催しており、また、平川市が持っている産業や観光、伝統文化などの地域資源を広く全国に発信し、イメージアップにつなげていきたい。

2. 公約の一つ目「産業」の振興について。

問 ①農業の6次産業化、商品開発と販売ブランドづくりについて。

②企業の育成について。

③企業の誘致について、現在の取り組みと今後の見通しは。

答 ①現在ブランドづくりに取り組んでいる津軽の桃はテレビ等で特集されるなど注目されており、生果のほかピューレなどの一次加工品を活用した商品もある。その他、市内の農業者が農産物ブランド化支援事業を実施している。

②中小企業関係の融資面では、貸付原資の一部預託により、利率抑制を行っている平川市特別保証制度等を実施。経営革新の支援は、新商品の開発などを支援する平川市地域元気支援補助金等がある。また、国、県などの補助事業も活用し、支援策を行っているところである。

③企業誘致及び立地に関しては合併後に8工場の新設・増設を進めてきている。現在は、木質バイオマス発電事業が進められており、これにより地域経済活性化が期待される。今後も企業誘致及び立地を推進し、ホームページ等でのPR積極的に行える環境を整えていきたい。

請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人の場合は、その名称及び代表者氏名）を書いて必ず押印してください。
- ③ 請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

【記入例】

平成 年 月 日

平川市議会議長（氏名） 殿

請願（陳情）者 住 所
氏 名 印

紹介議員 氏 名 印

〇〇〇に関する請願（陳情）書

【請願（陳情）の要旨】
【理 由】

会 派 の 紹 介

◆このたび会派の結成および所属議員変更がありましたので、お知らせします。

平成26年7月30日に、新たに日本共産党、8月1日に、新たに拓新会、新風の会が結成されました。また、9月24日に三浦純一議員、桑田公憲議員が新風の会から退会しました。

拓 新 会 (8名)

役職名	氏 名
会 長	工 藤 竹 雄
会 員	田 中 友 彦、齋 藤 政 子、古 川 昭 二、成 田 敏 昭、 古 川 敏 夫、對 馬 實、佐々木 利 正

新 風 の 会 (2名)

役職名	氏 名
代 表	原 田 淳
会 計	石 田 昭 弘

日 本 共 産 党 (2名)

役職名	氏 名
代 表	齋 藤 律 子
会 員	工 藤 輝 昭

所 属 会 派 無 し (7名)

佐 藤 雄
 福 士 恵美子 (社会民主党)
 齋 藤 英 仁
 小 野 敬 子
 大 川 登
 三 浦 純 一
 桑 田 公 憲

※会派とは…主義・主張を同じくするものによって作られた派閥や団体。
 平川市議会では運営申し合わせ事項により、2人以上の所属議員を有する党及び会派をいう。

第2回臨時会

平成26年第2回臨時会は8月28日に召集され、議案第82号平川市運動施設条例の一部を改正する条例案が上程されました。また、新しい議員が誕生したため、議席の指定や一部変更等がありました。今臨時会で提出された議案は、賛成多数で原案どおり可決されました。

●平川市運動施設条例の一部を改正する条例案

平川市運動施設条例に規定している「平賀グラウンド」の用地の譲渡に際し、教育財産から普通財産に移行させることに伴い、「平賀グラウンド」を同条例から除外し廃止する必要があるため。

質 疑

問 譲渡金額や面積の変更があったが、もっと早く相手方と協議できなかったのか。

答 6月議会の際にももう少し協議する必要があるとの意見があり、譲渡金額や面積、譲渡理由も含めて株日本マイクロニクスと協議してきたため。



議会インターネットライブ中継始まる

議会の様子を
生中継!

市議会では開かれた議会を目指し、平成26年12月定例会より議会の様子をインターネットでライブ中継することとなりました（録画中継はなし）。

対象となるのは、定例会・臨時会の本会議、予算特別委員会、決算特別委員会、全員協議会です。視聴方法を市のホームページに掲載しておりますので、是非ご確認ください。

※詳しくは

平川市議会

検索



議員全員協議会開催



平成26年度第2回議員全員協議会が11月17日に開催されました。新市建設計画の変更について、また、第2期平賀総合運動施設整備事業の修正について、それぞれ企画財政課長、教育委員会事務局長から概要等の説明があった後、議員から活発な意見が出されました。



青森県市議会議員研修会開催

平成26年10月8日、津軽伝承工芸館を主会場に県内10市より市議会議員が参加し、研修会が実施されました。株式会社キースタッフの鳥巢研二氏による講演会「地域6次産業化へ向けて～地域の雇用を創造するために～」、その後中野もみじ山・黒森山浄仙寺を視察しました。終了後、主会場において議員相互による活発な意見交換会が開催されました。



▲研修会の様子



▲浄仙寺視察の様子

* 議会の動き *

平成 26 年

- | | |
|--|---|
| 9月 1日 議会運営委員会 | 11月 7日 平成 26 年交通安全青森県民大会受賞祝賀会に議長出席（黒石市） |
| 5～16日 平成 26 年第 3 回定例会 | 12日 知事を囲む懇談会に議長、事務局長出席 |
| 6日 平川市立猿賀小学校統合創立 40 周年記念式典・祝賀会に副議長出席 | 17日 議員全員協議会 |
| 〃日 アップルランド南田温泉りんご大観音像建立 30 周年記念式典に議長出席 | 〃日 平成 26 年度青森県市議会議長会第 2 回定期総会に議長、事務局長出席（弘前市） |
| 7日 第 36 回青森縣護國神社永代神楽奉納祭に議長出席（弘前市） | 19日 議会広報特別委員会 |
| 13日 弘前駐屯地平成 26 年度自衛隊記念日行事に議長出席（弘前市） | 21日 平成 26 年第 2 回青森県後期高齢者医療広域連合議会定例会に議長出席（青森市） |
| 15日 平川市長寿福祉大会に議長ほか出席 | 〃日 おのえ企画「池田宏里ギター演奏&ボジョレー・ヌーヴォーの夕べ」に議長出席 |
| 18日 津軽みらい農業協同組合第 6 回通常総代会に議長出席 | 23日 猿賀神社新嘗祭に議長出席 |
| 22日 平成 26 年黒石地区交通安全大会に議長出席（黒石市） | 28日 議会運営委員会 |
| 10月 4日 平賀ライオンズクラブ結成 45 周年記念式典・祝賀会に議長出席 | 〃日 議会広報特別委員会 |
| 8日 青森県市議会議員研修会に議長ほか出席（黒石市） | |

議会を傍聴してみませんか

定例会は 3 月、6 月、9 月、12 月に行われます

詳しくは議会事務局まで 電話 (0172) 44-1111 (内線 1511)

◆◆ 編集室 から ◆◆

ひらかわ市議会だより第 36 号から広報特別委員会の一員となり、編集に加わることになりました齋藤律子です。

9 月定例会は、7 月末の補欠選挙で当選を果たした 8 名の議員を迎えての決算議会となりました。決算特別委員会は 19 名の議員全員を委員とし設置されましたが、逮捕された議員の欠席が目立ちました。

これまで 20 議席の視点で行われてきた決算審査は 3 日間だったものを、今回は 2 日間で審査をし、認定をすることになりました。

又、議員報酬削減に関する条例案が議員提出議案として出され、報道陣のカメラが議場に入る中 7 対 5 で削減案は否決され、公職選挙法違反事件の異常事態が続いています。

住民に代わって行政効果を評価する重要な決算議会は課題を残しながら閉会しましたが、平川市民の付託に応えられる議会となる為一日も早く正常化に向けた努力が必要であると感じた 9 月定例会でした。

(齋藤律子)